

CONTENTS

| | |
|----------------------|-----|
| 地域発NEWS | 1~4 |
| 国有林野所在市町村の魅力紹介 | 5~6 |
| 特集コーナー | 7 |
| 使える！行政情報& | 8 |
| 研究・技術の参考情報 | |
| 地域のこの人 | 9 |
| 東北森林管理局の管内で | 10 |
| 予定されているイベント情報 | |



標高1,466mで山頂がどの方向からも3つの峰に見えます。
普段と違う岩手山の荒々しい稜線を背景にしながら、東北で
一番早い紅葉をご堪能ください。

オオシラビソ林の再生に向けた稚樹の試験移植

山形森林管理署

平成25年秋頃から蔵王山頂付近のオオシラビソ（別名アオモリトドマツ）が蛾（トウヒツツリヒメハマキ）の幼虫とトドマツノキクイムシの食害で枯損したのを受け、当署では平成31年度から試験的な取組の一環として、現地で採取したオオシラビソの稚樹の移植を行っています。

今年、山形県で「第6回『山の日』全国大会やまがた2022」が開催されるのに併せ、8月10日に、蔵王ロープウェイ地蔵山頂駅横に設けた試験区画で、標高1,300m付近から採取したオオシラビソの自生稚樹（大小12本）を、地元の山形市立蔵王第三小学校・第二中学校の児童・生徒（当日は小学生6名、中学生4名）が移植しました。

ササの根が張り巡らされた地面にシャベルで穴を掘る作業は小学生には大変そうでしたが、中学生や先生も手伝って無事移植を終えていました。

同小・中学校では、以前から地域学習として樹氷の土台となるオオシラビソの枯損を取り上げしており、当署も講師を派遣するなど学習活動や現地見学をお手伝いしています。

稚樹がアイスモンスターに育つには長年月を要しますが、子供達によみがえった樹氷を見届けてもらえるよう、当署も取組を進めていきます。



移植作業を実演する職員と見守る児童・生徒

気軽なトレッキングを楽しもう

青森森林管理署

当署管内にある眺望山^{ちようぼうさん}は青森市内から北西約20kmと近く、標高は143mで山頂まで急な坂道がなく手軽に散策が楽しめる場所となっています。



眺望山展望台からの遠望

ヒノキ、カラマツ、スギなどの木々や豊富な種類の植物が楽しめますが、中でも「青森ヒバ（和名：ヒノキアスナロ）」の森が見られることが特徴です。青森ヒバは日本三大美林の一つであり、青森県の県木にもなっています。成長の特性として、ほとんどの植物は種子が発芽して増える実生更新により増えていきますが、ヒバについては枝が垂れ下がり地面に接したところから発根する伏条更新^{じょう}できる木となっており、眺望山でも運が良ければその状態の枝が見つかるかもしれません。

これからの時期は涼しく、行楽においては紅葉狩りやキノコ狩りなどがあり、眺望山にも様々な種類のキノコが自生しています。ただし、食べるのは大変危険なものと採取することはできませんが、山のルールを守りつつ色とりどりのキノコを探しながら観察するのも楽しみとなっています。眺望山の自然な移り変わりを味わい、登山靴や動きやすい服装での気軽なトレッキングを是非眺望山でお楽しみ下さい。

災害復旧工事で地域の安全と交通を確保

三八上北森林管理署

令和3年8月の台風9号から変化した温帯低気圧が影響する大雨（日雨量178.0mm）により、当署管内、七戸町中天間舘国有林の下石高林道が被害を受けました。路面流水と地下湧水により林道の路体が約41m崩落、土砂は斜面の立木を巻き込み下方の県道まで約80m崩落する大規模な災害でした。

林道の奥には、牧草地のほか事業予定地があり、また、県道は旧鉱山の管理や八甲田田代平へ通じる道路として地元住民に利用されているため、当署では早期の復旧に向け、被災後速やかに調査を実施し、令和4年4月から災害復旧工事を行っています。

工事は林道の復旧、山腹の復旧が目的であり、林道工事・治山工事を一体とした災害復旧工事として実施しています。林道工事では、路体の復旧と盛土を安定させるための土留工、排水施設を施工し、治山工事では、山が崩れた足元を鋼製の土留施設で固定するとともに、林道排水施設からの流路と流末施設の施工を行います。

現在、11月末の完成に向け地域住民の安心・安全を守るため、林道・治山連携して災害復旧事業に取り組んでいます。



排水施設工事を施工

オオハンゴンソウ防除作業

朝日庄内森林生態系保全センター

当センターは、主に朝日山地森林生態系保護地域をフィールドとし、その豊かな自然を後世に残すための保全管理を業務としております。

オオハンゴンソウは、明治時代に観賞用として北アメリカから輸入され、野生化したものが日本各地に拡大しました。旺盛な繁殖力により在来植物を駆逐してしまう恐れがあることから「特定外来生物」に指定されています。

近年、朝日山地森林生態系保護地域内にも、その姿が見られるようになりました。

昨年度に引き続き、5月28日に巡視員（出羽三山の自然を守る会、山形県山岳連盟、山形県溪流釣り協議会）、環境省羽黒自然保護官事務所、山形県みどり自然課及び山形森林管理署による防除作業を実施しました。



オオハンゴンソウ ヨモギ（裏が白い）

開花前のオオハンゴンソウの葉は、一見ヨモギと似ているため区別しにくく葉の裏側を確認しながら防除

作業を行いました。約2時間の作業で1,100株を防除することができました。

今後も関係団体と協力しながら、引き続き朝日山地の生態系を守る活動を継続していきます。



根子から掘り取っている様子

国有林ボランティアの活躍

三陸中部森林管理署

当署では、ニホンジカによる深刻な農林業被害が発生していることから、平成28年度から国有林野事業としてニホンジカ被害防除事業を実施し、ワナによるシカの捕獲を行っております。

捕獲したシカは国有林内に埋設して処理を行っていますが、今年度も国有林ボランティアの協力により、シカの埋設穴の掘削作業を実施しました。当日は一般社団法人青森林業土木協会を含め、13の企業・団体の参加、総勢33名により大船渡市内の国有林において、重機による埋設穴の掘削作業や木製路面排水工の施工、路面整正等の林道補修作業を行いました。



木製路面排水工の施工

本ボランティアを通じた皆様のご協力により、ニホンジカ被害防除事業は円滑に進行し、昨年度の事業ではシカの捕獲実績が事業開始以降で最多となりました。

当署では、各関係機関・団体と協力・連携のうえ、今回のような活動を継続して実施していくことにより、今後ともニホンジカによる農林業被害対策に積極的に取り組んでいきます。

グリーン・サポート・スタッフの活動

岩手南部森林管理署遠野支署

当支署では、早池峰山周辺において希少な植生の保護や盗掘防止、マナー啓発を目的に、一般の方から募集した森林保護員（グリーン・サポート・スタッフ（GSS））による巡視活動を行っています。

早池峰山での巡視活動に加え、昨年度から山頂周辺に散らばっている古い細かなガラス片や金属片の回収活動を継続して行っております。活動を続けているうちに一般登山者の協力も得られるようになり、ちりも積もればとはこのこと、これまでに回収したガラス片や金属片は約10kgとなりました。

また、このほかにも早池峰山周辺地域では、移入植物の駆除等を実施し、高山植物の保護を図っております。



山頂でのガラス片回収の様子

今年度の早池峰山は、3年ぶりにシャトルバスの運行を再開し、山頂で神事を執り行いましたが、山開き前日にクマが出没、登山者が怪我をするという事故が発生しました。登山の際は熊鈴や熊スプレーを装備するなどして身を守ってください。

登山者の皆さんが、自然の大切さを知ってもらいながら、安心して登山を楽しんでもらうために、当支署は、今後もGSSによる様々な活動を通し早池峰山周辺の保安全管理に努めていきます。

下刈の省力化～筋刈の導入～

米代東部森林管理署上小阿仁支署

東北森林管理局では下刈作業の軽労化に取り組むとともに、令和4年度を期首とする「筋刈導入3か年計画」を作成し、下刈面積の削減と筋刈の本格導入に向けた取組を実施しています。

筋刈とは、造林地内を筋状に刈り払う方法であり、従来の全面積を刈り払う全刈と比較すると、約30%の省力化が期待出来ます。

当支署でも今年度より請負事業で筋刈を導入し

【筋刈のイメージ】



ており、5箇所(3.78ha)を実行しています。

請負者からは、「従来の全刈に比べ、苗木周辺の刈り払いをしないため、苗木の損傷を防げる」「今は筋刈に慣れていないが、^{ほうかいうえ}方形植が定着すると効率的に作業ができそうだ」「来年の苗木の状態に関心がある」等の意見がありました。

今年度実施した箇所は、地拵・植付段階に筋刈を想定していない箇所が多く、全刈と効率的にあまり変わらない場合もありました。今後は筋刈が主体になるため、作業効率の向上が見込まれるよう、地拵・植付時から筋刈を想定した作業を進めることとなります。また、請負業者等から出された意見を参考に、下刈作業の省力化がより図られるように検討していきます。



筋刈(赤線部分)箇所をドローンで上空から撮影

木材の安定供給と労災ゼロを目指して

由利森林管理署

国有林野事業には国土の保全や水源のかん養等の公益的機能と共に、木材の安定的な供給という重要な役割があります。そのためには現場で作業する労働者の安全作業が必要不可欠です。

当署では例年、森林管理局、本荘労働基準監督署、及び林業・木材製造業労働災害防止協会秋田県支部の協力をいただき、当署の生産事業請負事業体等と労働災害防止協議会を開催しています。

今年度も8月5日、製品生産事業地において、40名以上の請負事業体等の職員参加の下、同協議会を開催しました。

今回の協議会では、特に注意が必要とされる伐倒作業の中で、伐倒方向を決める「受け口^{まごうせん}の会合線」について、事前に調査したアンケート



受け口についての講習

結果を基に普段の作業を振り返りつつ、代表業者による受け口切り等を行いながら講義と実演を実施しました。

今回の協議会を機に、関係する皆様が、なお一層の安全作業に対する認識を深めることを期待し、



伐倒作業後の講評

署においては労働災害を未然防止する取組を今後とも継続し、木材の安定的な供給に努めていきます。

国有林野所在市町村の魅力紹介

青森県下北郡東通村

下北森林管理署

東通村は青森県の北東端に位置し、北は津軽海峡、東は太平洋に囲まれ、さらに森林面積が約8割を占める大自然の中にある村です。黒毛和牛の繁殖・肥育を主とした畜産と、夏に吹く冷涼な風である「ヤマセ」を利用したブルーベリー・夏秋いちご等農作物の栽培、そして豊かな海での漁が盛んに行われています。

村の観光スポットである国定公園尻屋崎には、全国で16基しかない登れる灯台であり、かつレンガ造りでは日本一の高さ33メートルを誇る「尻屋崎灯台」があります。その展望台からは津軽海峡と太平洋が交差し、波立つ様子を見ることができます。



津軽海峡と尻屋崎灯台

尻屋崎は広大な放牧地であり、草原の緑と海の青、そして白亜の灯台のコントラストは絶景です。また「寒立馬」と呼ばれる、南部馬（現在の岩手県に生息していた馬）と、フランスのブルト



越冬する寒立馬

ン種を掛け合わせて200年以上におよぶ歴史の中でつくりあげられた、体躯が大きいながらも愛らしい馬も見ることができ、行楽シーズンには絶景と寒立馬が草を食む様子に癒やされようと観光客がたくさん訪れます。

そして、村を訪れる観光客の方にお土産として人気なのが、村内産ブルーベリーで作られた風味豊かなジャムと、ブランド牛である「東通牛」です。繁殖から肥育まで、安心安全を第一にのびのびと育て



村内産ブルーベリージャム

られた東通牛はとろける脂が絶品です。国定公園尻屋崎への道中にある野牛川レストハウスでは、東通牛を使用したハンバーグやジャッキー、フラ



野牛川レストハウス

ンクフルトなどを販売しており、気軽にお手にとっていただくことができます。また、毎月

9日、19日、29日には東通牛の精肉の特売も行っていますので、その日にあわせて東通村までドライブに訪れてみてはいかがでしょうか。



東通牛のハンバーグ

お問合せ先：東通村商工観光課 Tel：0175-27-2111

国有林野所在市町村の魅力紹介

秋田県湯沢市

秋田森林管理署湯沢支署

湯沢市は秋田県南部に位置し、宮城県及び山形県と接しています。佐竹義宜公の秋田への国替え



湯沢城址からの市街及び横手盆地

という言い伝えがあります。

湯沢市を中心に広がる土地は肥沃な土地で、美人を育てる秋田米「あきたこまち」の主要な生産地の一つです。

美味しい米と美味しい水があれば、美味しい日本酒が醸造できます。湯沢市はかつて「東北の灘」とも呼ばれており、市内に蔵元が軒を並べ、上質な日本酒を醸造します。



国登録有形文化財の蔵元の建物

日本三大うどんに数えられる稲庭うどん、湯沢ラーメンと呼ばれる麺類など、美味しい食物に恵まれています。

なお、稲庭うどんの地元として、「全国まるごとうどんEXPO in 秋田」が今年は10月1日(土)、2日(日)に開催され、全国各地のうどんが湯沢市に結集します。

にあたり、山形から入部し、湯沢市関口地区から北に広がる横手盆地の美田を見て、国造りの決意を固めた

このほかにも、ブランド化されたイチゴ、サクランボ、ブドウ、リンゴ、セリ等四季折々の農産物や、日

秋田県のブランド米「あきたこまち」は、平安時代の歌人で世界三大美人の小野小町にちなんで命名されていますが、湯沢市小野地区の出身とされています。毎年6月には「小町まつり」が開催され、小野小町を偲びます。



小町娘 (写真：湯沢市提供)

京から輿入れされた佐竹義宜公の奥様の郷愁をなぐさめたことから始まった、美人画が描かれた灯籠や5色の短冊を吊した青竹が街中に飾られる「七夕絵どうろうまつり」も夏の風物詩です。

さらに、湯沢市が位置する西栗駒一帯は日本でも有数の地熱賦存地帯と言われ、小安峡、大湯、泥湯、秋ノ宮といった著名な温泉があります。また、日本三大霊地に数えられる「川原毛地獄」は、火山活動で白色化した岩石で一面が覆われ、妖しい美しさが荒涼とした景観を醸し出しています。



川原毛地獄を登る遊歩道

これら太古の噴火や火山活動等によって形成された地形や、人間の営みによって築かれた遺構などが「ゆざわジオパーク」に認定され、わかりやすく紹介されています。

湯沢市はこれらの資源を「地熱のまち」として、発電や地域振興に活用しています。

このように湯沢市は豊かな資源に加え、美人や美食の魅力が散りばめられています。

東北森林管理局では、国有林野の有する公益的機能を重視した管理経営を進める中で、木材の持続的かつ計画的な供給に努めています。供給方法は、山に生えている状態の木（立木）を販売する「立木販売」と、伐採した木を丸太にして販売する「素材販売」の2種類があります。



立木販売箇所

中でも素材販売について当局では、丸太の品質を一般材、合板材、低質材と3種類に区分しています。価格帯は地域差があるものの、杉の一般材で約15,000円/m³、合板材で約12,000円/m³、低質材で約8,000円/m³程度でそれぞれ販売しています。3種類に区分したことで、一般材は製材所等、合板材は合板工場・集成材工場、低質材は製紙工場やバイオマス発電所等で利用されるなど、地域の木材産業に携わる多様な業者に対し、ニーズに応じた丸太を効果的に供給することが可能です。



素材販売物件

また、当局では今年度から高品質ブランド材規格を新たに制定しました。東北には青森ヒバや南部アカマツ、80年生を超える高齢級秋田杉等、貴重な資源が多く存在します。これを全国的に周知し、有効活用してもらおうと企図しています。例えば、高齢級秋田杉は東北圏外でも高く評価されており、今年5月に名古屋で行われた市売では、12万円/m³の高値で落札もされています。



名古屋の市場へ出品したブランド材

さて、高値と言えれば記憶に新しいのが、昨年話題となったウッドショックです。これは世界的に木材価格の高騰した現象であり、先述した一般材、合板材及び低質材の価格もこの影響で近年の相場より一段高い価格となりました。世間ではこれを「木材の値上がり」と言っていますが、そもそも、ここ30年間で立木や丸太の価格は半分以下まで下落していました。価格の低迷によって森林所有者等にお金が十分に還元されず、伐った後に森林の手入れを行うための経費が十分に賄えないような状況でした。今般の価格の上昇は、そうした環境と経済を安定的に両立させる適正価格への「値戻り」という認識を共有することが重要と考えます。

また、ウッドショックを機に、外材の調達環境の不安定さがクローズアップされ、国産材に回帰する動きが広がりつつあります。国有林も、木材の安定供給により国産材のシェア拡大に貢献し、我が国の林業・木材産業に貢献できるよう、これからも努めてまいります。

希少野生動植物の
保全事業

東北森林管理局管内の国有林野には、世界自然遺産の白神山地をはじめ原生的な森林が残されており、これらの森林には絶滅の危機に瀕している希少な野生動植物も生息・生育しているため、環境省等と連携しながら希少種の保全事業に取り組んでいます。

保全事業としては例えば、イヌワシやクマタカ等の希少猛禽類の狩場を創出するため、人工林の間伐や皆伐をしたり…これは代表的な取組ですが、他にもクマゲラの営巣地付近の施業の取りやめなど施業調整をしたり、日本国内では秋田県内にもみ生育するチョウセンキバナアツモリソウの保護増殖の取組を行ったり（写真①）、早池峰山の高山植物を保護するため防鹿柵の設置（写真②）等々、生物多様性の保全に配慮した森林施業を行っております。



写真① 今年は十数株咲いた
チョウセンキバナアツモリ
ソウ



写真② 防鹿柵内で開花した早池峰山の
固有種・ナンブトラノオ

※種の保存法に基づき、国内に生息・生育する絶滅のおそれのある野生生物のうち、人為の影響により存続に支障を来す事情が生じていると判断される種を「国内希少野生動植物種」に指定しています。



一覧はこちらから→

ご関心のある方は、東北森林管理局計画課
(018-836-2206)までお問合せ下さい。

注目を集め始めたバイオ炭

地球温暖化対策の議論が深まる中で、炭利用は「大気中の二酸化炭素を地中に隔離する手段の一つである」という新しい視点が登場しました。更に、本年のJ-クレジット制度認証委員会（2022年6月30日開催）において、247t-CO₂と限られた削減量ですが、我が国で初めて「炭」を用いたクレジットが認証されました。

日本は古くから木炭や灰を田畑の土壌改良に用いてきました。木炭は樹木を炭窯などで製炭して得る固体生成物です。製炭の過程で樹木中の化学成分は熱分解されますが、その2-3割は難分解性の炭素として残存します。従って、農地へ炭を施用することは、生長の過程で二酸化炭素を樹木中に濃縮し、それを安定した炭素に変換したのちに土壌中へ隔離することを意味します。

ここで、生長の過程で二酸化炭素を蓄積することを考えれば、樹木だけを炭原料とする必要はなく、もみ殻や木の実の殻なども利用出来ます。こうした多様な有機物を利用することから、総称として「バイオ炭 (biochar)」と呼んでいます。

バイオ炭の農地施用に関する方法論には改良すべき事項があるもののクレジットとして具体的な取引が始まりました。木材高度加工研究所では、多様なバイオ炭の品質・安全性評価を通して、バイオ炭施用の取組を推進しています。



バイオ炭を施用した水田での田植作業（能代市母体）

ご関心のある方は、秋田県立大学木材高度加工
研究所(0185-52-6900)までお問合せ下さい。

地域のこの人

震災復興からスタートした林業マン

岩手県国有林造林生産請負事業協議会
株式会社昭林 宮古営業所 業務主任 畠山 祐樹さん

当社は、本社が盛岡市に所在し、盛岡市、遠野市及び宮古市に営業所があります。3つの営業所で働く現場従業員数は48人、作業班数は10班と多く、互いに応援し合いながら仕事をしています。当社は素材生産を主な事業とし、年間の素材生産量は、国有林から請負う素材生産量と立木購入による素材生産量を合わせ約6万m³です。



美しい木材に囲まれた中での仕事

私が入社したのは、東日本大震災の直後の平成23年7月です。三陸沿岸は甚大な被害を受け、復興の途についたばかりの時期でした。私は大船渡市で被災した当社のチップ工場を山田町に移転新築する

チップ工場の再建に携わり、平成28年に宮古営業所へ配置替えとなり、それ以降素材生産に従事しています。

現在はキャリアアップのためのフォレストリーダー研修を受講しながら、担当する作業班を安全で効率的に運営するため、会社、発注署等との連絡調整、安全関係外会社からの指示の伝達、生産材の積積み、検知とその集計・報告、トラックの配車及び後輩への技術指導等に携わっています。

さて、私は林業の現場の中心的技术者を目指していますが、様々な機会で林業の魅力を発信し続けるとともに、若者達と林業から地域の活性化を図りたいと思っています。共に林業マンとして、ぜひ一緒に働きませんか。

古きを大切に、現代に受け継ぐ

山形森林管理署最上支署 金山森林事務所
森林官 大西 数磨さん

当事務所は、山形県の北東部に位置し秋田県に接する国有林約7千haを管轄しており良質なスギの人工林が広がっています。

管内区域は金山町全域となっており、民有林においては、ブランド材の「金山杉」が全国に知られています。

金山町は、江戸時代に羽州街道の宿場町として栄え、今も古い建物や蔵が建ち並び、街を散策していると、切妻屋根に白壁、そして金山杉の下目板張りが特徴の「金山型住宅」がよく見られます。

この地域では、古くからスギの植林が行われ、これまで築き上げてきた林業技術の伝承を大事にしつつ、最先端技術の普及についても金山町森林組合を中心に、早くから航空レーザー測量を活用したICT林業に取り組んでおり、当支署の若手職員を中心に講習会や意見交換でお世話になりながら、国有林においてICT林業を進めるためのよりよい見本とさせていただいています。

私は、日々、森林官として金山町の古きを大切に現代に受け継ぐ心と最先端技術に触れる貴重な経験をしています。皆さんも地方自治体や林業関係者との連携を図りながら進める様々な取組に携わる職業として、ぜひ公務員を目指してみませんか。



地元中学生にドローンの操作方法を説明する筆者

10月中旬

八甲田連峰の紅葉

10月1日(土)～10月31日(月)
八甲田ロープウェーから味わう紅葉をどうぞお楽しみください
(青森県・八甲田ロープウェー株式会社)

盛岡花火の祭典

10月10日(月)
市内北上川河川敷で開かれる盛岡地区で一番大きな花火大会
(岩手県・盛岡商工会議所)

第17回白石城下きものまつり

10月14日(金)～10月16日(日)
着物姿で市内を巡り、城下町白石の町の魅力を再発見してみよう
(宮城県・白石まちづくり株式会社)

全国伝統こけし工人フェスティバル

10月15日(土)～10月16日(日)
こけし工人による製作実演、展示販売などが行われます
(青森県・黒石市津軽こけし館)

第30回山形県林業まつり

10月15日(土)～10月16日(日)
森林の役割や木材の特徴等のパネル展示、木製品販売、木工作体験
(山形県・山形県林業まつり実行委員会)

庄内森とみどりのフェスティバル2022

10月15日(土)～10月16日(日)
木工品、特用林産物の展示販売、木工教室などの催し
(山形県・庄内森とみどりのフェスティバル実行委員会)

紅葉とキノコ 久渡寺山頂

10月16日(日)
月例登山、久渡寺山頂を目指し紅葉見物
(青森県・弘前市みどりの協会)

平庭闘牛大会もみじ場所

10月16日(日)
東北唯一の闘牛大会。歌謡ショーや屋台が並ぶ大感謝祭も同時開催
(岩手県・久慈市山形総合支所)

10月下旬

紅葉の網張での記念スケッチ

10月22日(土)
紅葉の網張をハイキングしながらスケッチを楽しもう
(岩手県・網張ビジターセンター)

100年後の森作り

10月22日(土)
森で遊ぼう！植樹もしよう！自然散策と植樹を楽しもう
(秋田県・森吉山野生鳥獣センター)

月山・清水コース紅葉トレッキング

10月22日(土)
ブナの黄葉の中、大門海コースを登り姥沢まで、下りは清水コース
(山形県・山形県立自然博物館ネイチャーセンター)

中野もみじ山紅葉狩り

10月22日(土)～11月6日(日)
弘前藩主津軽學親公ゆかりのもみじの名勝で紅葉が溪流に映えます
(青森県・黒石市)

のしろ産業フェア2022

10月22日(土)～10月23日(日)
市内の多様な産業の事業紹介や製品の展示・販売等を行います
(秋田県・能代市)

北秋田市産業祭

10月22日(土)～10月23日(日)
地場産品の紹介や地場産業の再発見と発展を目的とした産業祭
(秋田県・北秋田市産業祭実行委員会事務局)

七ヶ宿湖一周ウォーキング2022

10月29日(土)
紅葉を楽しみながら約12kmをのんびりと歩く
(宮城県・七ヶ宿町、七ヶ宿町観光協会)

第2回蔵王町遠刈田こけしまつり

10月29日(土)～10月30日(日)
東北各地の伝統こけしの展示と即売会、クラフト作家のブース出展
(宮城県・みやぎ蔵王こけし館)

11月上旬

秋の藤原まつり

11月1日(火)～11月3日(木)
美しい紅葉と稚児行列、郷土芸能、中尊寺能、毛越寺延年の舞
(岩手県・(一社)平泉観光協会)

2022 ZAO 猿倉グリーン感謝祭

11月5日(土)～11月6日(日)
にじます・岩魚釣り大会とジンギスカンパーティー
(山形県・蔵王猿倉レストハウス)

丸森町総合文化祭

11月5日(土)～11月6日(日)
町民の作品展示を中心とした芸術の秋にぴったりのイベント
(宮城県・丸森町役場生涯学習課)

あじがさわスイーツフェス

11月6日(日)
深谷の栗を使用したスイーツをメインとした販売会
(青森県・鱒ヶ沢町政策推進課)

久慈もぐらんぴあ駅伝競走大会

11月6日(日)
毎年11月、小学生から大人までチームでタスキをつなぐ駅伝大会
(岩手県・久慈もぐらんぴあ駅伝競走大会実行委員会事務局)

森のクラフト体験

11月6日(日)
自然豊かな中、小刀でバターナイフを作ろう
(岩手県・網張ビジターセンター)

さかた北前朝市

11月6日(日)
地元の食材や手作りの品物など、フリーマーケットも同時開催
(山形県・さかた北前朝市事務局)

秋田犬ふれあい処 in 千秋公園

5月5日(木)～11月7日(月)
赤・白・虎毛など様々な秋田犬の見学、秋田犬関連グッズも販売
(秋田県・秋田観光コンベンション協会)

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



問い合わせ先

| | | | | | | | | | | |
|----------|-------------------------|---------------------|---------------|-----------------|-----------------------|------------------|-----------------------|---------------|--------------------|---------------|
| 青森県 | 青森事務所 | 青森市篠田三丁目22-16 | ☎017-781-2117 | 宮城県 | 宮城北部署 | 大崎市古川東町5-32 | ☎0229-22-2074 | | | |
| | 津軽署 | 弘前市大字豊田二丁目2-4 | ☎0172-27-2800 | | 仙台署 | 仙台市青葉区東照宮一丁目15-1 | ☎022-273-1111 | | | |
| | 金木支署 | 五所川原市金木町芦野200-498 | ☎0173-53-3115 | | 秋田県 | 米代東部署 | 大館市上代野字中館3-23 | ☎0186-50-6130 | | |
| | 青森署 | 青森市篠田三丁目22-16 | ☎017-781-0131 | | | 上小阿仁支署 | 北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13 | ☎0186-77-2422 | | |
| | 下北署 | むつ市金巻一丁目4-6 | ☎0175-22-1131 | | | 米代西部署 | 能代市御指南町3-45 | ☎0185-54-5511 | | |
| 三八上北署 | 十和田市西二番町1-27 | ☎0176-23-3551 | 秋田署 | 秋田市河辺和田字和田156-3 | | ☎018-882-2311 | | | | |
| 津軽白神センター | 西津軽郡鰺ヶ沢町大字瀬戸町字東阿部野70-82 | ☎0173-72-2931 | 湯沢支署 | 湯沢市田町二丁目6-38 | | ☎0183-73-2164 | | | | |
| 岩手県 | 森林技術・支援センター | 北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8 | ☎0173-57-9022 | 由利署 | 由利本荘市水林439 | ☎0184-22-1076 | 山形県 | 藤里センター | 山本郡藤里町藤里字大間添24-3 | ☎0185-79-1003 |
| | 岩手北部署 | 八幡平市荒屋新町41-8 | ☎0195-72-2221 | 庄内署 | 鶴岡市末広町23-37 | ☎0235-22-3331 | | 山形署 | 寒河江市元町一丁目17-2 | ☎0237-86-3161 |
| | 三陸北部署 | 宮古市磯崎石崎4-6 | ☎0193-62-6448 | 最上支署 | 最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11 | ☎0233-62-2122 | | 置賜署 | 西置賜郡小国町大字岩井沢581-45 | ☎0238-62-2246 |
| | 久慈支署 | 久慈市夏井町大崎14-12 | ☎0194-53-3391 | 朝日庄内センター | 鶴岡市下名川字落合3 | ☎0235-58-1730 | | | | |
| | 三陸中部署 | 大船渡市盛町字津野沢7-5 | ☎0192-26-2161 | | | | | | | |

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.223 ●発行日/令和4年10月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために製材材を積極的に使用しています。